

社員のことを考えたST制度、特別休暇に

3月1日 9:45~10:20、23春闘第3回目の団交報告その②です。

■ST制度改善のネックになる「課税リスク」とは

組合 今回オープン券がなくなり、ST00とST90で空席待ちできなくなる。今まで朝から空席待ちすれば便数が多いところではだいたい乗れた。これはいわゆる「課税リスク」の対象になるのか？そもそも「課税リスク」とはどういうものを職場に説明する必要があるのでは？

会社 その価値がどう見られるかというところ。無償だとか10%割引だとか半分だとか、料金も違う。ST00の方は「体験搭乗なので」というやり方をしている。踏み込んでいくと、そう言えるような点数にしている。例えばST00を要求して頂いたような内容にした時に、「これって体験搭乗じゃなくて社員へ給与みたいなものだよね」と見られると、課税対象になる。料金だけではなく、航空券の価値として見られる。一般の方の「予約できるもの」と「予約できないST90」という差を付けている。どこの線で見られるかが非常に難しい。前日から予約できるとなれば普通の航空券と一緒に見られる。

組合 3時間前からしかST00と90が使えないわけで、オープン券が無くなっているから、その頃にはだいたい乗る人は決まっている。だから空席を埋めた方がいいと思う。飛行機に乗った時に「JALの便ガラガラだな」と思われるより賑やかな方がいいだろう、と考えると、これだけ制限された中で使うのだから点数を増やしてもいいかと思う。

会社 点数を増やすと、その体験搭乗の説明が付かなくなってしまう。今回は新たな運賃体系の中でスカイメイトが4時間前なのでそれよりも直前に予約できる。直前に予約できるということが航空券の価値として低いと説明をしている。朝から全部、夜の便にも乗れるということになると、ここはお金の話で一般のお客様との関わりということにならざるを得ない。未来永劫、何も考えてないというわけでもなく、全く使わない方も、すぐ使う方もいる制度で、使わない方からすると関係ないが、たまに乗る時に課税されていると「そんなの課税しなくていいよ」とか言われる。全体を見ながら検討はせずとしている。今後も何がいいのか検討していきたい。

組合 先ほどのST95ではないけれどアイデアは出して行くのでぜひ検討してほしい。あと別居特認ST00/ST00予約の件、半年に1回変えられるとはいえ、全部予約で全部課税対象になるとST90を払っているのと一緒になる。これは何とかして頂きたい。今まで通り柔軟に混んでる便だけ予約できるようにしていただきたい。

会社 システム的に無理です。

■特定目的積立制度の暫定運用してみた結果は？

組合 休暇についての要求もしている。22年度までの暫定で、私傷病・介護・看護・不妊治療で一日単位で特定目的積立制度が使えるようになってる。1日休めば回復する持病

を持つ人は結構使っていて評判はいい。そちらで掘んでいく使用状況とか評判とかどうか？

会社 2年間やって今振り返ってみて、23年度からどうするか考えて、しっかり決めなくてはいけない時期だけれど、ちょっとコロナ禍だったこともあり、これは傷病とは関係ないにしても、全職種対象なので、どうしても全職種の生産体制の影響など考えなくてはいけませんので、そういう観点で今確認をしている。ご活用いただいたという感じもあれば、条件によっては思ったより使われていないというのもある。ただコロナだったからとか、職種によってもあるかもしれないけど、その辺を見ている。

組合 コロナも一日単位で特別に取れているので、そこは参考にならなかったと思う。だからトライアル延長みたいな形でやってもらえればいい。外航だとシックリーブとかもある。年5日程度だけれど、何もなければずっと残る。100日貯まっている人とかもいる。それも一日単位で使えるから、同じような考え方で、傷病でも一日単位で使えるように引き続きお願いしたい。

組合 昨年、特目の積立可能日数が増えた。いま3月で年休の締めになっているが「最低限年休15日取らせればいい」という管理職がいると困る。特目は自分の意思で貯めるものということで間違いはないか？

会社 別に特目を増やしたから年休がマイナス5というわけではなく、年休を付与して繰り越した部分までは、しっかり少なくとも取っていただいて、その上で何らかの理由で残ってしまった場合は、そういう繰り越しが活用できるという制度。

委員長 いろいろやり取りしてきたが結局平行線。手当のやり取りは、内容的な問題もあって平行線が多い、ぜひこども歩み寄りが必要かと思っています。私たちもいろんな要求を変えたりしている。今回もST95と言っているのはST00が使い勝手悪くなったから代替みたいな感じで言っている。その部分はお互い、今後必要かと思っている。ただ、今回の要求は非常に重くて強い要求になっている。これで、特に諸要求の部分、手当とかも内容的に全部平行線なので、特に原資に関わる部分に何とか再回答していただきたい。それで人を大切にしている、人を大切にしていきたいという部分を社員にアピールしていただきたい。それを今見せるには有額回答でしかない。みんな今物価高に苦しんでいる、一日でも早くお願いしたい。自動車産業では即日回答もしている。そういう姿勢をJALにも見せてほしいと思う。だから一日でも早く再回答を持って来ていただきたい。